

## 長月を迎えて

## 分所長 高木敏彦

酷暑の夏を終え、やっと一息をついた9月になりましたが、まだまだ残暑の厳しい毎日です。体調にご留意してお過ごしください。

来月の6日には綾部の長生殿にて裏千家の鵬雲斎千玄室大宗匠による平和祈念献茶式と講演が行われます。滅多にない機会ですので、皆様のご参拝をされるようお勧めします。

9月11日の全国一斉平和祈願祝詞奏上もよろしくお願い申し上げます。

## 後継者問題と芸術と

## 安藤香春

日本全体が少子高齢化しているのです、当たり前だが、私の職場をはじめ、他業種、様々な地域コミュニティは漫然とした人手不足、後継者問題を抱えている。大本教団も同様のようにだ。

後継者を得るために必要なことはなんだろうか。育児休業を取得し職場復帰後、良質な人間関係構築のために大切なことについて研修を受け、マネジメント本を読み気づいたのは、子育ても部下指導も営業活動におけるお客さまとの関係も、大切なポイントは全て一緒だということだ。

要はどれだけ相手に自分の時間を分け与えることができるか、である。子の問いかけに

話半分で適当に流す、部下の問いかけに体を向けずに応答するのはダメ。相手のいうことに耳を傾ける時間をとることが大切ということ。

確かに、伝えたいことを聞き、自分を見てくれる、分かるうとしてくれる相手を人は嫌いなれない気がする。そして「この人が言うのなら」と行動を起こす。つまり人を動かしたいなら、その人に向き合う時間を共有する必要がありますように思える。

後継者になり得る子供や若い世代の方に、大本の世界観に共感し、親しんで身近に感じていただけるために、一般的世間でも親しまれている芸術から宗教大本に触れる経験は、良い入口のように思える。私の場合も、習っていたピアノの経験を買われ愛善歌に参加したり、家族と共に習ったお茶を通じての大本のお茶席への参加が大きかったように思う。

若い世代が主体となって楽しみ、親しめる時間を共有するために、若い世代が参加してみたい、こどもにやらせてみたい、と思うような催しを後継者を作りたい側の大人が、自身の得意分野でできれば良さそうに思う。

私自身は、王仁三郎聖師のことば「芸術は宗教の母」「茶道は天国の遊び」に従い、茶道を続けて、後継者問題解決に少しでも効果が見られたら良いと思っている。

## 主な行事予定

9月8日(日) 午後1時半より

碧南分所月次祭 担当第2班

9月11日(水) 午後7時より

第22回全国一斉世界平和祈願

9月15日(日) 午前10時より

三河本苑月次祭・敬老会

9月29日(日) 午前10時より 三河本苑

宣伝使・宣伝使になるための研修会

10月6日(日)

梅松苑月次祭・長生殿にて献茶式

10月13日(日) 午後1時半より

碧南分所月次祭 担当第3班

10月18日(金)

香良洲神社・大本友好記念碑除幕式

10月18日(金)

霊界物語全国一斉拝読会

10月20日 午前10時より

三河本苑秋季大祭・祖霊慰霊大祭

三河本苑大祭

冠沓句の募集

冠句題 「いつの世も」「数々の」「いろいろと」

沓句題 「教主さま」

締切 9月15日 本苑月次祭

## 9月の誕生者

おめでとうございます！

市古 美弥子 岡本 勝 4日 杉浦 陽子 堀江

あゆみ 9日 奥谷 久美子 三浦 幹太郎 10

日 鈴木 さやか 18日 高橋 英彦 19日

萩原 芳美 20日 角谷 満代 24日 三浦

晃子 28日 蒲生 和高 30日